

	第044号	2019年7月1日
		☎180-0006 東京都武蔵野市中町 2-21-15 発行責任者 近藤 和義 TEL. 0422-53-5252 FAX. 0422-52-8100

2019年6月8日(土)

2019年総会ウォークと通常総会

総会ウォーク

【グリーンパーク遊歩道～西久保コミセン】

前日の梅雨入り宣言もあり、☂予報であったが、当日は雨も降らず曇天となり、東伏見駅前に32名が集った。武蔵関公園～東伏見稲荷～武蔵野中央公園～グリーンパーク遊歩道～西久保コミュニティセンター総会会場までおよそ6kmを全員元気に完歩した。

今回は、歴史の渦中にあった昭和の面影を残す武蔵野市中心のウォークでした。

武蔵野中央公園は、中島飛行機武蔵野製作所(太平洋戦争が始まった昭和16年から軍需工場として機能した)

の跡地であり、昭和26年「グリーンパーク野球場」が突如出現。5万人収容の巨大球場であったが、プロ野球・東京六大学の試合、合わせて28日間、66試合だけで終わった。原因は、盛土が保水力に乏しいローム層のため土埃がすごく、また都心より遠く客足が伸びなかったためといわれている。



この後、勤労学徒が動員され、工場に物資を運ぶ引き込み線「旧国鉄 武蔵野競技場線」(三鷹駅から中央公園入り口付近まで)が廃止され、軌道跡が遊歩道として整備された「グリーンパーク遊歩道」へ。

「グリーンパーク」は、終戦直後より公園跡地一体を接収していたアメリカ軍が用いていた地名に由来すること(昭和28年返還)。

(文：K・K)

2019年度 第13回通常総会

2019年度 通常総会が、6月8日(土) 西久保コミュニティセンターにおいて、定刻通り12時より開催された。

総会は元木満生さんの司会で開会され、近藤理事長の挨拶に続き、議事進行のため、議長に平野 健さんが選出された。

会員総数106名中、出席者77名(出席者39名、委任状38名)で総会は成立する旨、議長より報告された。議事録署名人には、加納みどりさん、松本公子さん、が選任された。

続いて議案審議に入り 第1号議案 2018年度事業報告が近藤理事長より報告された。第2号議案 2018年度収支決算報告は小松理事より報告があった。

続いて、保科監事より決算監査報告がなされた。会員より事業収入の内訳、補助金事業の計上時期についての質問がなされたが、第1号議案、第2号議案ともに可決された。

第3号議案 2019年度事業計画は近藤理事長から、第4号議案 2019年度収支予算は小松理事より提案がなされ、満場一致をもって可決された。



第5号議案 理事退任、理事選任について提案があり、当会の発展に尽力された川島邦夫さんが退任され、平井直行さんが新たに理事に就任した。

以上をもって議案すべての審議を終了した。

続いて報告事項として、2018年度例会ウォーク高参加率者表彰(本誌6ページ参照)があり 表彰状と記念品が贈呈された。

司会者は閉会を宣言し、12時30分 総会は終了した。

懇親会

総会終了後、同場所において懇親会が催された。近藤理事長の発声で開会され、出席者34名全員で1年間の労をねぎらった。

立食ではあったが、和気あいあいの雰囲気の中、またたく間に時間もすぎ、13時30分散会した。

次回はもっと多くの方々に参加して頂き、より多くの意見が聞けたらと思いました。



終わりにあたり、裏方で活躍された女性理事の方々には感謝の意を表したいと思います。大変お疲れさまでした。

(文：T・Ko)

新しい出会いで楽しく

理事長 近藤和義

人間は動物の中でも社会性を最も必要とする生物であり、複雑な生存環境をもっています。多くの人間は他の動物と違い、自らの手で食物を手に入れることはなく、大きな枠組みの中で食物を手に入れて生きています。

したがって人間は社会性を持たねば、肉体的にも精神的にも、また社会的にも生きていくことが大変難しくなります。すなわち人間は社会の循環の中で生きるということになります。

最近大きな事件が起きてしまいました。二つの事件に共通していたことは、事件を起こした方が、社会と隔絶していたことでした。これまでも同様の事件が起きましたが、当事者はおそらく人との出会いが少なかったり、ひきこもっていた結果ではないかと推察しています。

私は一昨年より好んで「老いは足から・社会との隔絶から」と言っておりますし、この事は「歩こう会」の大きな目的の一つと思っています。

私は4年前に縁あって「歩こう会」に入会いたしました。それ以来多くの会員の方々と会話をし、出会いを感じておりました。

幾多の先輩方との交わりは、私が行ってきた地域活動の方々とは違う世界で活動していた人が多く、大変新鮮に感じました。

中でも「鹿子木さん」にお会いできたことはありがたく、本当に衝撃でした。隅田川にかかる橋を含め、多くの河川、橋梁の知識の深さ、市井にこのような研究者がいるのかと驚くと共にありがたく感じました。

会員の皆様方は、会員相互の対話はもとより、他からのお客様を迎える際は、その出会いを意識し、意義あるものにすることが出来ます。積極的に会話をするにより、素晴らしい出会いが生まれると存じます。

皆様今後も共に活動し、実りある人生にいたしましう。



例会案内

※詳細内容につきましては、毎月お送りしております「例会案内」をご覧ください。

第2回シリーズウォーク 平成の歴史を歩く 木漏れ日の玉川上水【拝島から玉川上水駅】

開催日時 2019年7月13日(土) 午前9時30分集合
集合場所 JR青梅線 拝島駅 北口広場
解散場所 西武線・多摩モノレール 玉川上水駅
午後1時30分頃

歩行距離 約8km

歩行コース 拝島駅前広場/スタート～玉川上水緑道

(日光橋～こはげ橋～拝島上水橋～上水公園/WC～昭和の森ゴルフコース～みほり橋～昭和の森ゴルフ練習場～松中橋～一番橋～天王橋～新家橋～御影橋～御影橋公園/昼食予定～金毘羅橋～宮の橋～先手橋～国立音大～玉川上水駅) /ゴール



(文：M・M)

第38回カルチャーウォーク 国分寺の史跡めぐりと納涼会

開催日時 2019年8月3日(水) 午前10時集合
集合場所 JR中央線 西国分寺駅 南口広場
解散場所 JR中央線 国分寺駅 午後1時頃
その後 納涼会会場に移動

歩行距離 約4km

歩行コース

西国分寺南口スタート～東山道武蔵路～ガイドによる順路～都立国分寺公園～国分寺駅～居酒屋「煙」

※武蔵国分寺資料館：入館料100円が別途必要です。

(文：Y・S)



第136回定例ウォーク

荒川の下流を歩く【岩淵水門～小台橋】

開催日時 2019年9月14日(土)
 集合場所 JR赤羽駅南口下車 赤羽公園 午前9時30分集合
 解散場所 都電荒川線 荒川遊園前駅 13時30分頃
 歩行距離 約10km
 歩行コース
 赤羽公園(スタート)～スズラン通り商店街～志茂橋
 (新河岸川)～荒川知水資料館(見学無料・WC)～旧岩淵
 水門～新岩淵水門～鹿浜
 橋(荒川)～宮城ゆうゆう
 公園(昼食休憩・WC)～五色
 桜大橋(荒川)～江北橋(荒
 川)～光リビングビル～小
 台橋みずき通り～小台橋
 (隅田川)～小台交差点～荒川遊園前駅(ゴール)

荒川流域の人と情報の交流拠点



荒川のすべてが学べる
荒川知水資料館 (アモア)

(文：T・K)

第137回 定例ウォーク

勝島運河・コスモスの「しながわ花海道」

開催日時 2019年9月28日(土)
 集合場所 JR大井町駅 中央口 午前9時30分集合
 解散場所 京急線 立会川駅 午後1時30分頃
 歩行距離 約10km
 歩行コース

大井町駅(スタート)～八潮橋～八潮団地～京浜運河
 ～勝島橋～大井ふ頭中
 央海浜公園 (スポー
 ツの森：2020東京オリ
 ンピック ホッケー会
 場予定)～新平和橋～
 平和の森公園(昼食休
 憩)～しながわ花海道
 (勝島運河)～鮫洲橋～京急・立会川駅(ゴール)



(文：K・H)

お願い

会報内容充実のため、いつでも会員のみなさまの投稿をお待ちしております。なんでも結構です。

例会ウォーク実施報告

2019年4月6日(土)

第1回シリーズウォーク 平成の歴史を訪ねる 都庁前から東京マラソンコースを歩く

2019年4月1日、新元号が「平成」から「令和」と発表された。

いよいよ、5月1日から令和時代の始まりです。「平成の歴史を訪ねる」シリーズの第1回目が東京マラソンコースのウォークで当日は会員、他協会、一般の総勢51名が都庁前のスタート地点からゴールの和田倉噴水公園に向けて出発しました。

前日の冬に逆戻りかと思うような寒さとは打って変わり明るい陽射しの中、西新宿のビル街の摩天楼が立ち並ぶエリアを見上げると、平成3年竣工の都庁第一本庁舎が一際目を引く。パリのノートルダム大聖堂の形態を引用していると言われているモダンなデザインで、ランドマークの機能を果たしていると思います。その景色を見上げていると、東京マラソン当日36,000人もの人々が一斉にスタートしていく姿が目に見え、私達も今、そのコースを歩いていると思うとなぜか、気持ちがウキウキしてきました。

途中、マラソンコースから外れ外濠公園から靖国神社に入る。今年は、桜の開花宣言から2週間近くも真冬に戻った様な肌寒い日が続いているせいもあり、お陰様で桜の花は例年になく長く色が綺麗で艶やかに咲き誇っている。千鳥ヶ淵の桜も満開で素晴らしい。江戸城田安門から北の丸公園に入る。日本武道館では大学入学式が行われていて、更に花見客とで何処も大勢の人々で賑わっていた。北の丸公園で昼食。午後は、皇居東御苑に入る。桜の種類も多く、濃いピンクや、白とピンクの混ざったシャクナゲの群生、梨の花等々、珍しい植物を楽しんだ。



今回のコースを振り返ってみるとポカポカと暖かい春の日に、平成最後の桜を満喫でき、そして街路樹の色鮮やかなマンサク、カイドウ、ミツバツツジ等々が脳裏に焼き付いています。

和田倉噴水公園でゴール。心に残る一日でした。

(文：A・S)



2019年4月27日(土)

第133回定例ウォーク

花と歴史の古刹・ツツジの塩船観音寺散策

春の小雨がシトシト降る肌寒い朝、天気を心配しながら集合場所の青梅駅に向かうもスタート時には雨も上がり薄日がさすなか、青梅丘陵の一角 吹上しょうぶ公園と花と歴史の古刹・塩船観音寺散策のウォークを35名の参加者で元気よくスタートした。

穏やかな上りを登って青梅鉄道公園から永山通りを東へ進み吹上しょうぶ公園に到着、小休憩後公園内を一周した。同公園は5月下旬から6月下旬には、200種類、約10万本の菖蒲が咲き多くの観光客が訪れ、大変な賑わいだそうです。最大の魅力は深緑の里山風景をバックに数種の色々の咲き乱れる菖蒲の花とのコラボが来訪者を魅了し、花の頃に一度は訪ねたい名所です。公園を出るころ空模様がおかしくなり、しばらくすると小雨がパラパラ降り出し、傘や合羽を身につけ観音寺通りから本日のメイン塩船観音寺に到着した。

塩船観音寺は京都府伏見区の醍醐寺を総本山としますが、総本山に準じた待遇を受ける別格本山で格式の高い寺院だそうです。まず、平安時代の作で国指定重要文化財 茅葺の仁王門と左右にそびえる、幹回り7.8m、高さ約38mの都指定文化財の夫婦杉が目につき、歴史を感じさせてくれました。本堂の奥、護摩堂の周辺つつじ園には、20種を超える品種のツツジが約20,000本植栽されており、すり鉢状の境内から見渡すツツジは、広大にして美しく華やかで、美しく咲いた花を眺めると、何故か心が豊かになった気分がしました。また、山頂からは穏やかな顔をした平和観音像が境内を見守るように立っており、そこから見下ろすツツジの景観もすばらしいの一言です。

昼食後、平安時代の作 国指定重要文化財の本堂や阿弥陀堂、市指定文化財の薬師堂、銅鐘等歴史的な建造物を見学して塩船観音寺に別れを告げゴールの河辺駅へ向かった。

今日のウォークは、歴史を感じる古刹 塩船観音寺見学と境内に咲く見事なツツジの他、山桜、チューリップ、藤の花、富士桜、ハナミズキ等、春の花を愛でる楽しい青梅里山巡りででした。

(文: M・M)



2019年5月11日(土)

第37回カルチャーウォーク

横浜散策と日本郵船歴史博物館・氷川丸見学

5月1日元号が平成から令和へ改められ、新時代初のウォーキングは1859年(安政6)横浜港が開港され、海外の新しい文化交流により文明開化の原動力となった日本の海の玄関横浜です。五月晴れの朝、46名が桜木町駅に集合・スタート。さくら通りを進み国際橋を渡り「カップヌードルミュージアム」を入口から眺め、サークルウォーク、万国橋通りから海岸通りに入り「日本郵船歴史博物館」に到着した。

16本のコリント式円柱列が優美な日本郵船横浜支店です、戦火を逃れた大理石の受付を通り、オリエンテーションルームで映像を見ながら興味深い説明を受け展示場へ。日本郵船の歴史を年代順に見学、太平洋戦争のため徴用され犠牲となった豪華客船と多くの人命のコーナーでは戦争ほど悲惨なものはないと思った。

次に向かったのは、幾多の苦難を乗り越え米国航路に復帰1960年に引退し山下公園の前に係留保存されている「氷川丸」です。

気温が上昇夏日の中、海を眺めながら船内を見学して外に出ると、横浜ローズウィーク会場の山下公園は色鮮やかなバラが咲き誇りその香りに包まれました。ここで振り返って氷川丸にお別れして解散となりました。

今回の幹事さんが中華街「王府井」を予約して下さり、希望者37名が参加し楽しい一時を過ごしました。

(文: M・K)



2019年5月25日(土)

第134回定例ウォーク

神田川からバラの鳩山会館ウォーク

5月というのに真夏日予報がでて、朝からどんどん気温が上昇、集合時間の午前9時ころには30℃を超える雲一つない晴天でした。

52名の参加者を前に、理事長より「こまめに水分をとってください」との挨拶があり、スタート。

神田川沿いから、向かったのは元熊本藩細川家の跡地をそのまま公園にした旧称・新江戸川公園で小休止。水分補給をして庭園を周遊し、松尾芭蕉が一時住んでいた関口芭蕉庵へ。ここは開園時間前であったのでパス。

次の坂が、陰しく胸を突くようにしなければ登れないことから、江戸時代の人々が名付けたといわれる距離58m、高低差14mの「胸突坂」に挑戦しました。

坂を上り切った場所に、細川家伝来の美術・歴史を展示している「永青文庫」があり、講談社の野間記念館、東京カテドラル大聖堂、日本で最初にフランスパンを焼いた「関口パン」等、文化の香りを楽しみながら歩き、音羽通りにでました。

閑静な音羽の丘陵を登り、2,000坪の敷地にイギリス風洋館と庭にはバラが咲く鳩山記念会館に到着。この会館は政治家 鳩山家代々の住居を戦後改修し、平成8年より記念館として一般公開された建物で、



英国風サン・ルーム、ステンドグラス、応接室等 大正ロマンを感じ取れました。庭園のバラはこのころの日照り続きのせ

いか、花卉がほとんど散ってしまっており、チョッと残念でした。しかしながら沢山の種類のバラがあり、その根元には花の名前プレートがあり、なかでも「シャルル・ドゴール」というバラがあるのにはびっくりしました。

そこから20分程度で護国寺に到着、昼食休憩。午後からは、ジョン万次郎、小泉八雲、夏目漱石ら多くの著名人が眠る雑司ヶ谷霊園を通り、都電荒川線沿いを歩き、目白通りにでました。

ここからは日陰を求めて、学習院の広いキャンパス沿いの街路樹の木陰で涼を取りながら、ゴールのJR目白駅に到着。

今日のコースは、朝から暑さとの戦いでありましたが、ところどころ直射日光を遮ってくれた木々に助けられ、完歩することができました。ひとりでウォークすると脱落してしまいそうでしたが、会員のパワーで乗り切ることができ、感謝しております。

(文：N・H)

ホームページ情報

- [1] 8月度 例会案内を6月末掲載いたしました。
- [2] 会報第44号を7月初旬に掲載します。
- [3] ギャラリーを7月初旬に掲載します。



2018年度 例会ウォーク表彰

「2018年度例会ウォーク」の表彰対象会員の皆様です。おめでとうございます。

○年間19回すべて完歩された方は次の4名です。
保科 勝彦・元木 満生・小泉 昌子・小松 巧

○高参加率(75%以上)を達成された方は以下の12名です。

秋元 美恵子・川端下 よしみ・佐川 通利・下之園 久

・田村 和美・森田 秀雄・山田 庸子・加納みどり

・近藤 和義・須藤 昭枝・長野 正熙・平野 健

(いづれも敬称略)

以上16名の方に「通常総会」にて表彰状と記念品が贈呈されました。

会員ニュース

2019年6月25日現在、入会された新たな仲間をご紹介します。(敬称略)

品川区 304 蛭田 剛司

品川区 305 小林 光枝



むさしの歩こう会のホームページです。皆様もう一度 当会の理解を深めましょう！

むさしの歩こう会

歩くことを通して健康づくりを推進



未永く健康でいきいきとした生活が送れるよう、
積極的にウォーキングしましょう。

みんなで一緒に歩こう！

健康づくり…歩くことに勝る良薬なし！

私たちは、歩くこと（ウォーキング）の実践をとおして、健康づくりを推進するとともに、自然に親しみ、友とふれあい、史跡を訪ね、より豊かな生活を求めて活動しております。

私たちは、会の名前を「むさしの歩こう会」と名付けましたが、これは関東一円をカバーした、いにしへの武蔵国をイメージし、自然、文化、歴史に恵まれたこの地域での「歩きたくなる道」を会員が共同で研究・開発し、楽しいウォーキングを企画・実践しております。

私たちのウォーキングは老若男女を広く対象として、長距離、短距離、山道、平たん地と様々なコースを設定し、会員はもとより、広く一般の参加を受け付けております。

また、シリーズものも好評を博しております。桜ウォークシリーズ、城シリーズ、七福神シリーズなど興味を呼ぶ企画も多数あります。

私たちは、2008年にNPO認証を受け、地域活動、他団体との協議も積極的に行っております。

多くの皆さんが楽しいウォーキングに参加し、また会員として活動いただけるよう期待しております。

